BETTER POLICIES FOR BETTER LIVES

OECD教育局　対日教育復興支援事業
OECD東北スクール

OECDキーコンピテンシー理論と
プロジェクト学習法に基づく
創造的教育復興支援プロジェクト

ＯＥＣＤ教育局2012年2月25日

内容

１．ＯＥＣＤ教育局　対日復興支援の背景
２．ＯＥＣＤ東北スクールの目的
３．プロジェクト学習のゴール
４．ＯＥＣＤ東北スクール：主な原動力
５．2014年までの大まかな流れ

１．ＯＥＣＤ教育局　対日復興支援の背景

2011年3月11日　東日本大震災

2011年3月24日　OECD東京センター・OECD教育局により諸外国の教育緊急対応発表

2011年4月　OECD事務総長アンヘル・グリア来日。復興支援表明

2011年11月 OECD教育局長バーバラ・イッシンガー、文部科学大臣と面談。教育復興支援の継続を約束。

2012年2月　“Strong Performer Successful Reformer”ビデオシリーズで、日本の震災教育復興事例を世界に紹介

2012年3月26日　OECD東北スクール・スタート

２．ＯＥＣＤ東北スクールの目的

東北の子どもたちが・・・

主体性を発揮！

- 子どもたちが主体性を発揮するため、「プロジェクト学習」を実施する。子どもたちに与えられるプロジェクト（課題）は、「自らの力で東北地方・日本の魅力をＰＲする国際的なイベントの企画・実行する」こと。

プロセスから学ぶ！

- 復興は長期に渡る。持久力を養うために、一回完結型のイベントでなく、それを計画・実施するという過程を通じて、21世紀というグローバルな、多様性に富む、知識基盤型社会における「鍵を握る能力」（＝ＯＥＣＤキーコンピタンシー）の育成を図る。例）子どもたちのリーダーシップ、企画力、創造力、建設的批判思考力、実行力、交渉力、協調性、国際性など。

未来・地域益・国益を考える！

- 地域の復興を海外へアピール貢献することにより、「地域力」の強化（地域の政策立案力・実施力）につなげる。そして、「東北・日本の未来」を考える人材、「東北地方の経済活性化に必要な産業やイノベーション」を創造する人材の育成を目指す。

３．プロジェクト学習のゴール

2014年9月 フランス・パリで、
東北の魅力をアピールするためのイベントを自ら企画・実行。

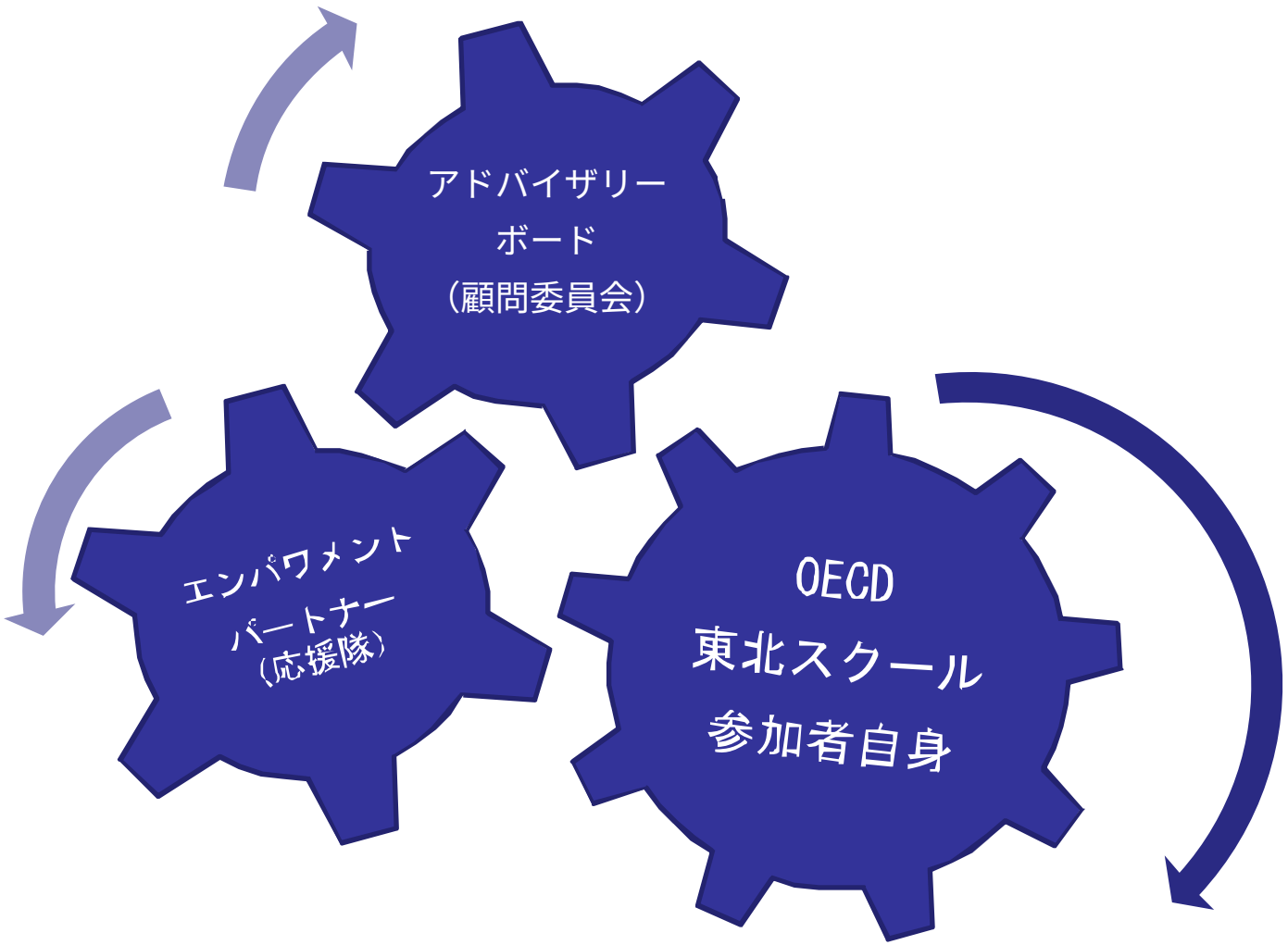
開催場所はOECDパリ本部予定。但し、参加者の夢・アイデア・発想・予算・交渉次第で、パリの街中でも可能。

フランスへの渡航予定人数は約100名。
但し、参加者の希望・企画・実行力により 増減あり。

内容（東北の何を どうやってアピールするか）は
参加者の企画により決定！

４．ＯＥＣＤ東北スクール：主な原動力

ＯＥＣＤフレームワーク



ＯＥＣＤ東北スクール　参加者

参加者自身が、ＯＥＣＤ東北スクールの「シナリオライター・演出家・主役」。

東北スクールのアウトプットとプロセスを設定・実施。東北スクールをフレームワークに、「何を、どうするか」。中身は、集まる参加者のアイデア・自主性・参画度によって決めまれます。

エンパワメント・パートナー　（応援隊）

東北域外（国内外）のパートナーと東北がつながって生まれる「パワー」。

東北域外の年齢も、経験もスキルも異なる人々が集まって生まれるソシアルキャピタル。東北の子どもと一緒に国内外に東北をアピールする子ども応援隊、東北スクールでファシリテーターやメンター役、ウィークエンドスクールでの各チームの進捗状況のモニタリングや新しい発想を意見交換、子どもの成功体験のお膳立て黒子役など、それぞれが個人として可能な範囲で、パートナーとして参加。

アドヴァイザリー・ボード（諮問委員会）

ボード・メンバーは、東北と東北域外（国内外）そしてＯＥＣＤを結ぶ「架け橋」。

復興現場のニーズとＯＥＣＤフレームワークが一致したスクール運営を目指すため、ＯＥＣＤは、ボードのメンバーのインプットを基に、カリキュラムやワークショップ手法など、フレームワークの調整をしていきます。メンバーは、福島大学に議長、その他教育と産業界から創造的復興を担うメンバーが参加。

ＯＥＣＤはフレームワークを設定

４つの付加価値と３つの理念

１．理論・裏付け

・ＰＩＳＡ調査の枠組みとなったOECDコンピテンシーに基づくカリキュラムの枠組み設定

２．先進教育研究・事例紹介

・「プロジェクト学習法」や「学校とコミュニティーの協力」など、ＯＥＣＤ研究で効果的と報告された先進事例や震災体験国の教育復興事例の紹介

３．学際的アプローチ

・他分野に渡る局をもつＯＥＣＤの学際的なアプローチにより、教育セクターと復興産業・新産業など、他のセクターと交わる分野で、問題解決型思考の機会を提供

４．国際性

・東北と世界をつなぐ発想を引き出す・発信する機会を提供

１．イニシアティブからシステムへ

・既存の創造的復興に向けた多くのイニシアティブが、「一過性」「断片的」にならないよう、本フレームワークを利用し、同じ目的・方向性を持つ個々の取り組みをスケールアップ。既存の教育システムに新しい価値観が根付くよう働きかけ

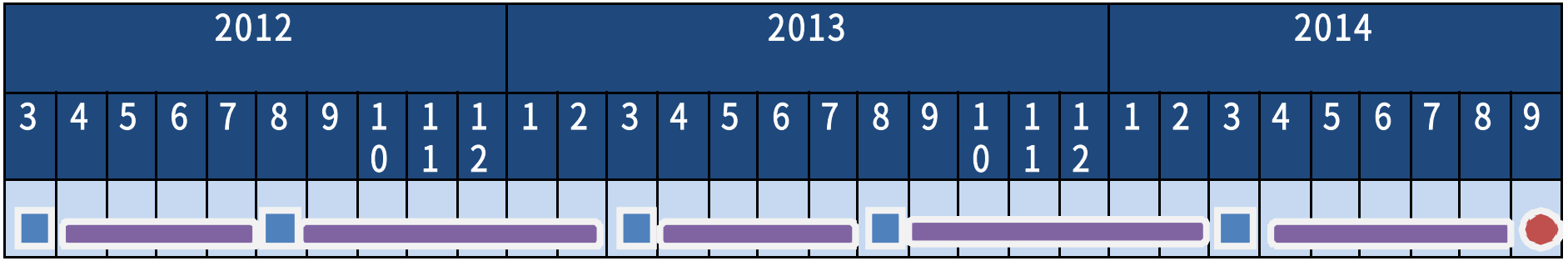
２．自助努力の継続性

・現地の実態に即しつつ、開かれた未来を見据えた、継続的な自助努力・自立・社会参画の促進

３．個と個のつながり

・「組織と組織のつながり」を超え、フラットでオープンな「個と個のつながり」を働きかけ、国内外で相互理解を高め、ソシアルキャピタルを共有

５．2014年までの大まかな流れ



2012‐14年まで、5回の一週間集中ワークショップ（熟議や体験学習）

- 参加者全員での全体会。各回の開催地とOECDで共同開催。

2012-14年まで、5回のウィークエンド・スクール　（週末の活動、又は、「総合学習」「特別活動」等の教育課程内や放課後等の課外活動）

- 各集中スクールまでの間は 各地域のチーム毎に、基本として、引率者が開催。
- 各チームの計画案を実施・支援のため、周りの友人や社会人も参加歓迎！
- 会合の目安は月2回。但し、参加者の状況に応じ、臨機応変に対応。
- 新しい価値観を生むため、東北域外（国内外）からメンター（お兄さん・お姉さん）と交流、進捗状況を話し合ったり、良いアイデアを出し合ったり。

2014年　パリで東北をアピールするイベント

自　治　体　様
学校関係者様
向け

OECD 東北スクール 参加募集のお知らせ

～2014 年 9 月 「東北・草の根大使」として、パリで東北をアピールしよう！～

2014 年 9 月　東北は どれだけ復興を遂げているのだろう？今から どう発展すべきなのだろう？

みんなで 「東北」の未来予想図を描いてみませんか？　一緒に 夢や希望を語りませんか？

そして あなたの考える「新しい東北」を、「東北・草の根大使」として、

2014 年 9 月 パリでアピールするイベントを企画・実行してみませんか？

今回 OECD 東北スクールでは 自分たちの東北を元気にしたい！もっと世界にアピールしたい！という

意欲あふれる中学生、高校生を募集します。

OECD（経済協力開発機構）は東日本大震災で被災した子どもたちが主体性を発揮し、自らの力で東北地方の魅力をＰＲする国際的なイベントの企画・実践を行い、地域の復興、海外への地域アピールに貢献することなどを通じて、子どもたちのリーダシップ、実践力、国際性の育成を図ることを目的とした、ＯＥＣＤ東北スクールを開催いたします。
主旨にご賛同いただけ、子供達と一緒に東北をアピールしたい、という自治体、学校、そして関係方々の参加をお待ちしています。

【プロジェクト・ゴール】

- 2014 年 9 月 フランス・パリで　東北の魅力をアピールするためのイベントを自ら企画・実行。
- 場所は OECD パリ本部予定。但し 参加者の夢・アイデア・発想・予算・交渉次第で　パリの街中で可能。
- 東北・草の根大使予定人数は約 100 名。但し　参加者の希望・企画・実行力により 増減あり。
- 内容（東北の何を どうやってアピールするか）は　参加者の企画により決定！

【第 1 回東北スクール】　共催：いわき市海浜自然の家、協力：いわき市教育委員会

日程：2012 年 3 月 26－30 日開催

3 月 25 日(日)　夜　ローカル・リーダー　トレーニングセッション(別途案内送付)

3 月 26 日(月)　8:30 開校式

3 月 30 日(金)　12：30 終了予定

場所：福島県いわき市　いわき市海浜自然の家

【第 1 回東北スクール参加募集対象】

- 岩手・宮城・福島各県の中学生、高校生　計約 80 名
- 自分の地域・東北の「強み」について考えている人・考えたい人。そして　自分のアイデアを世界にアピールしたい人
- 同じ学校・地域から 6－8 名の中高生＋引率者１名（ローカル・リーダーとして学校の先生又は地域のリーダー）をチームひと組として募集
- 原則として　2014 年まで　継続して イベントの企画・実行に参加が可能な人
- ローカル・リーダーは第 1 回東北スクール前(3 月 25 日夜)に　トレーニングセッションを予定

【2014までの東北スクールの流れ】

- 2012-14年までの春休みと夏休み　発想力・企画力・チームワーク・実行力など　21世紀の社会で生き抜く必要な力を養うための１週間の集中ワークショップを５回開催（2012春・夏、2013春・夏、2014春）
- 各集中スクールまでの間は、 各地域のチーム毎にローカル・リーダーがウィークエンド・スクールを開催
  - 週末でなくても　「総合学習」「特別活動」等の教育課程内や放課後等の課外活動での活動も歓迎。
  - 回りの友達や大人も参加可能。協力の波及効果を期待します。
  - 週末の場合　会合の目安は月２回。　但し　参加者の状況に応じて　臨機応変に対応していただく。
  - 新しい考えや価値を生み出すため、東北域以外（国内外）のエンパワメント・パートナーが参画。

【アドバイザリー・ボード】

OECDでは　設立50周年を機に「Better Policies for Better Lives（より良い生活のための、より良い政策)」をスローガンに掲げました。　より良い生活のための、より良い教育政策のため、OECD東北スクールを通し以下の達成を目指します。

１）国際的先進事例とOECDコンピテンシー理論の紹介[1]

２）より良い生活（経済・社会発展）につながる教育分野での産官学の連携

３）OECD研究で学校成功事例の要因と指摘される「学校とコミュニティーの協力」強化

「学校とコミュニティーの協力」強化については、ＯＥＣＤ東北スクール自体がコミュニティースクールの具現化を目指します。復興現場のニーズにマッチし、地域との連携に基づくスクール運営を目指すため、アドバイザリー・ボードの意見を積極的に取り入れます。

- 三浦　浩喜　（議長）国立大学法人福島大学　人文社会学群　人間発達文化学類　教授
- 阿部　芳吉 国立大学法人宮城教育大学　連携担当理事／連携担当副学長
- 山本　克彦　公立大学法人岩手県立大学　社会福祉学部福祉臨床学科　准教授
- 佐藤　敦士　岩手県教育委員会事務局　生涯学習文化課　主任社会教育主事
- 及川　幸彦　気仙沼市教育委員会　学校教育課　副参事兼指導主事、政府「ESDの10年」円卓会議委員
- 石井　賢一　浪江町立浪江小学校校長
- 井上　恭一　浪江町立浪江中学校校長
- 渡邊　忠彦　元仙台市小学校校長、教育委員
- 貝ノ瀬　滋　三鷹市教育長、中央教育審議会委員、一般社団法人創造的復興教育協会理事
- 針生　英一　ハリウコミュニケーションズ株式会社代表取締役
- 保護者代表（予定）
- 産業セクター代表（予定）

【エンパワメント・パートナー（東北域外（国内外）の応援隊)】

- 春・夏スクール　又は　ウィークエンド・スクールでファシリテーターやメンターとして　プロジェクト・ゴール達成のために　みんなと一緒に考える！
- 東北域外（国内外）から応援隊として　春・夏スクールに参加　又は　ビデオレターやスカイプで参加！
  第一回スクールは 東京、奈良、シンガポール、パリの小中高生とつながる予定！
- パリで活躍中の音楽家、料理ジャーナリストなど　東北スクール参加者が成功体験を重ねられるようアイデアを提供！

---

[1] 持続可能な経済・社会発展、双互依存、国際化、ICT化、イノベーション創造など、複雑系の現代社会を生き抜くのに必要な能力＝キーコンピテンシーに関するOECDのDeSeCoプロジェクトをベースにカリキュラム作成。http://www.oecd.org/dataoecd/47/61/35070367.pdf

【問合せ先】

プログラムの内容に関するご質問は、ＯＥＣＤ教育局田熊美保（miho.taguma@oecd.org）までお問い合わせください。
ご参加希望者は　太田環（tamaki.ota@hotmail.co.jp)まで、申し込み用紙、保護者合意書を記入の上、メールでお送りください。

ＯＥＣＤ東北スクール　　協力：福島大学　東日本大震災復興支援財団、外務省後援、文部科学省委託事業

第一回東北スクールの内容（予定）

未来予想図を描こう！「東北ブランド」って何だろう？　世界に東北の魅力は伝えよう！

日程	各セッションのテーマ	時間割	トピック（予定）	ファシリテーター
3.25（日）	事前打ち合わせ	16:00-18:00	• 引率リーダー	OECD
3.26（月）	OECD 東北スクールへようこそ！	08:30-9:30	• 開校式	OECD
		09:30-11:30	• 「発想力」「伝える力」	三谷宏治氏（金沢工業大学虎ノ門大学院主任教授）
		11:30-12:30	• 仲間を知ろう！自己紹介	池上彰氏（フリー・ジャーナリスト、東京工業大教授）
	過去から現在が見えてくる？	13:30-16:30	• 過去を振り返る、今を生きる • 「復興」って何？「復旧」と違う？	
3.27（火）	今をしっかりみつめよう！	08:30-12:30	• 今の自分の強みは何だろう？ 家族、友達、地域、東北	
	未来を語ろう！	13:30-15:30	東北の未来予想図を描こうよ！ • 東北・日本のこれからの課題は何だろう？ • どんな地域に住んで、どんな東北をつくろうか？	
	世界を歩こう！	15:30-16:30	• Google Earth で、パリの街角を散歩！	Gad Weil 氏（国際イベント・プロデューサー）
3.28（水）	東北を世界にアピールしよう！	08:30-12:30	• 東北の何を伝えたらいいんだろう？ • 世界からみた日本・東北のイメージって何？	
	どうやってアピールしようか！	13:30-15:30	どう伝えようか？ • 映像、演劇、実演、文字・活字、写真など、それぞれの持つ力を、考えよう。 • 2014 年まで自分たちの軌跡をドキュメンタリーで記録してみたらどうだろう？	椰木泰西氏（テレビマンユニオン・プロデューサー）
	イベントをどこでやろうか？	15:30-16:30	• 伝えたい「メッセージ」はなんだろう？ • メッセージ性にあった開催場所を考えてみよう。	Gad Weil 氏
3.29（木）	企業の戦略策定・実行って何？チームで戦略策定！	08:30-12:30	• 企業の戦略策定プロセスを学ぼう！ • 2014 年のイベントに向けて、チームごとの実行計画を作ろう！	内田和成氏（経営コンサルタント、早稲田大学教員）
	プレゼンの練習	13:30-16:30	• アクション・プランを翌日発表！プレゼンの練習。	
3.30（金）	チーム発表！	8：30－11：00	• チームによる発表 • パネル審査員によるフィードバック（予定） o 鈴木寛氏 o 池上彰氏 o 内田和成氏 o 三浦浩喜氏	文部科学省 ＯＥＣＤ
	未来への手紙	11:00-12:00	• 2014 年の未来の自分に手紙を書いてこう！	三浦浩喜氏（福島大学教授）
	第一回閉校式	12:00-12:30	• 第一回修了式	ＯＥＣＤ